



ERCA

2005.7月号

No.34

健康被害

予防事業だより

INDEX 目次

「エコカーワールド2005&エコライフ・フェア2005」の報告	2
平成17年度大気汚染防止推進月間事業の紹介	4
平成17年度公害健康被害予防事業予算の概要	5
調査研究事業発表会の紹介	6
イベント等の開催予定	8
その他の事業	9
新刊パンフレットのご案内	11
ホームページ 「大気汚染キーワード解説」コーナーのリニューアルのお知らせ	12

ぜん息児はがんばっています!! ぜん息児水泳記録会



写真は昨年の様子です。

今年は9月23日（大阪）、10月15日（東京）に開催を予定しています。詳細は8pをご覧ください。

エコカーワールド2005 &

毎年6月は「環境月間」として、6月5日の「環境の日」を中心に各地でいろいろな行事が行なわれ、6月11日(土)、12日(日)の2日間、横浜みなとみらい21 赤レンガ倉庫特設会場では当機構と木公園ケヤキ並木 (NHK ホール前) では当機構のほか、行政、企業、民間団体などの出展によって、《工初日は曇り時々雨、2日目は晴れとますますの天候にも恵まれ、2日間でエコカーワールド2005では、延べ3,000人の方に参加していただきました。ありがとうございました。つぎにその開催の様子を紹介します。

エコカーワールド2005



今年で記念の20回目を迎えたエコカーワールド2005。

電気自動車や燃料電池自動車などの低公害車(エコカー)が約90台展示された他、お子様が電気自動車の運転を疑似体験できるコーナーやソーラーカーを作ってタイムトライアルするコーナーなど、身近にエコカーの魅力を感じられるイベントに多くの家族連れの方が訪れました。

エコカーの燃料電池自動車に試乗された小池環境相は「環境と経済の両立が進みつつあると感じた」と話されました。

このエコカーワールド2005を通して、エコカーへの関心が高くなり、街中がエコカーであふれることを期待します。

ECOCAR WORLD 2005



オープニングセレモニー



展示場



展示場



試乗会場



エコカー体験コーナー

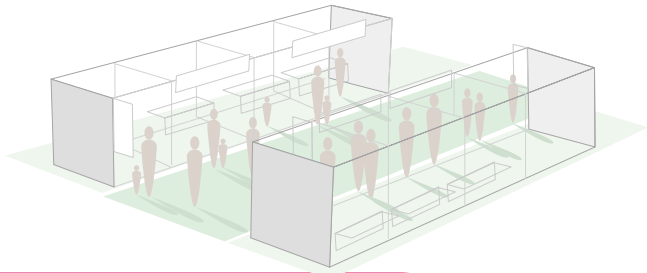


エコライフ・フェア2005

れました。

環境省、横浜市が主催する《エコカーワールド2005》が、代々
コライフ・フェア2005》が開催されました。

は、延べ62,000人、エコライフ・フェア2005の機構ブース



エコライフ・フェア2005

エコライフ・フェアは今年で16回目を迎えました。

参加企業の出展ブースでは環境保全、環境保護に資する最新の技術などが展示され、親子そろって楽しみながら環境意識を高められるゲームやクイズ大会が開催されました。

機構のブースでは「創ろう! よりよい環境とすこやかな暮らし」をテーマに大気汚染を改善するための低公害車や環境にやさしいエコドライブに関する情報、環境保全に関する取り組みなどについて、クイズ形式で紹介いたしました。

機構ブースをはじめとする各出展ブースには家族連れでゲームやクイズに挑戦する姿が多く見られ、環境に優しい「エコライフ」に関する意識が高まっていることがうかがえました。



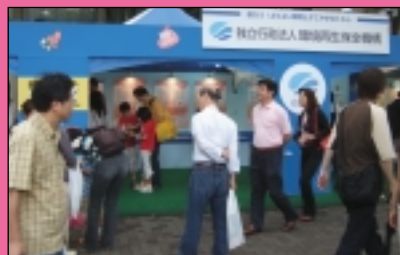
ECOLIFE FAIR 2005



会場入口



エコドライブ紹介



機構ブース前



クイズに挑戦



ブースの様子



平成17年度 大気汚染防止推進月間事業のお知らせ

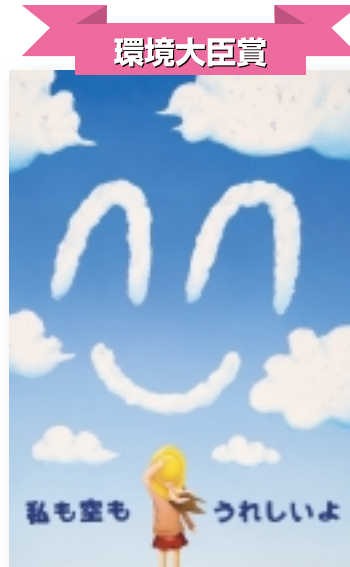
毎年、機構と環境省、全国都道府県が協力して、大気汚染物質濃度が高くなる12月の一ヶ月を大気汚染防止推進月間とし、主に自動車利用者（荷主、運転者等）やビル所有者を対象とする各種啓発活動を実施して、窒素酸化物（NO_x）や浮遊粒子状物質（SPM）等の排出低減を呼びかけています。

今年度は昨年度に引き続き、以下の事業を行います。

ポスター等の作成

青い空の大切さや、一人ひとりがやるべき事などを広く呼びかけるためのポスターを公募します。優秀作品は今年度の「大気汚染防止推進月間」のポスターとして12月に全国の都道府県各地に掲示されるほか、来年のカレンダー等に活用されます。

※応募方法等の詳細は機構サイト「大気環境の情報館」「大気汚染防止推進月間事業」コンテンツ（<http://www.erca.go.jp/taiki/suisin/index.html>）内をご覧ください。



昨年度の受賞作品

エコドライブコンテスト

このコンテストは、急発進や急加速をしないなど環境にやさしい運転「エコドライブ」を行うことにより大気汚染や地球温暖化の防止を目指し、対象地域の自治体との協力のもと、事業所が行っている「エコドライブ」の取り組みを公募します。

今年度は、募集対象地域を5自治体（昨年度は札幌市・東京都・川崎市・名古屋市・北九州市）とし、次年度以降も継続するための選定基準（ガイドライン）の作成を行います。

コンテストの詳細、募集要項等などは後日機構ホームページ「大気環境の情報館」内の「エコドライブコンテスト」専用サイトで紹介します。

昨年の受賞内容（一部）

自治体（札幌市、東京都、川崎市、名古屋市、北九州市）の協力により、参加事業所数 **285**、参加車両台数 **19,034** 台の応募がありました。その内容を各地域毎に評価した結果、最優秀賞1事業所、優秀賞4事業所及び入賞10事業所を決定しました。

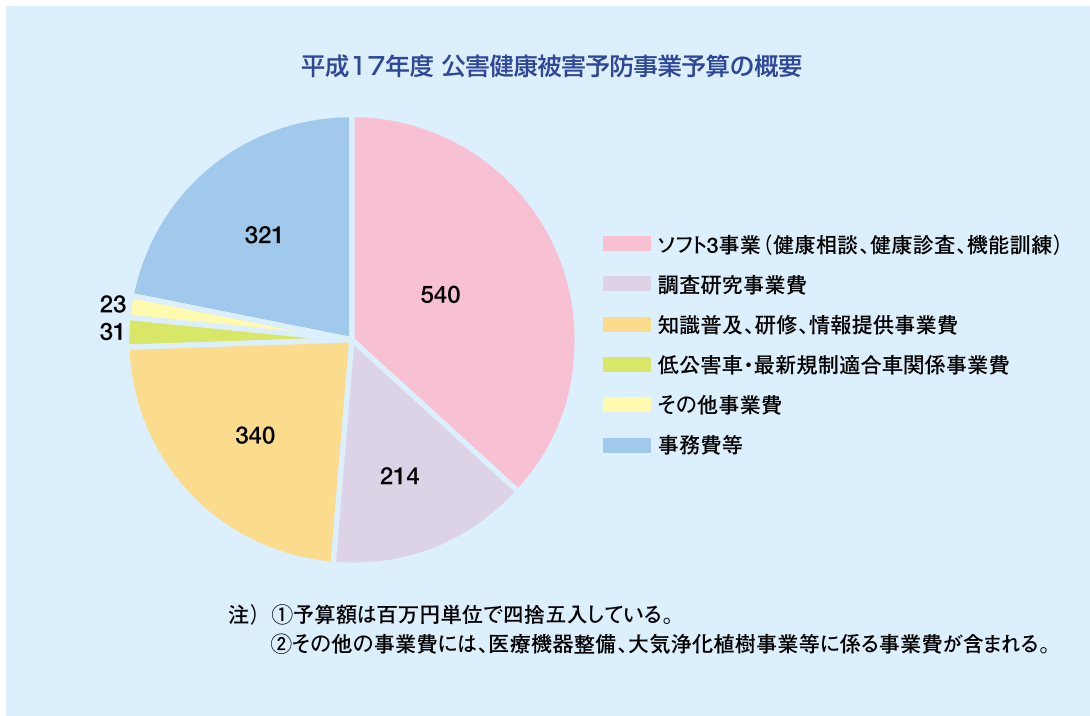
最優秀賞に選ばれた西多摩運送株式会社では手作りのエコドライブマニュアルビデオやビジュアル化された資料を数多く作成すると共に、乗務員の意見を大きく反映するミーティングに重点をおいた活動が、燃費向上や事故発生率を半減させた事が高い評価を受けました。



昨年度の表彰式の様子

平成17年度 公害健康被害予防事業予算の概要

独立行政法人環境再生保全機構中期計画に基づき平成17年度の業務運営に関する計画（年度計画）を定め、平成17年度予算を作成しました。



予算規模については、昨今の超低金利状況のなか、前年度比約 **12%減少**の **1,469 百万円**を見込んでいます。平成17年度予算の主なポイントは次のとおりです。

- ①助成事業のうち、環境保健分野に係る事業については、ソフト3事業（健康相談、健康診査、機能訓練）等、公健法旧第一種地域等の住民のぜん息等の発症予防、健康回復に直接つながる事業に重点化を図ります。
- ②助成事業のうち、大気環境の改善分野に係る事業については、関係地方公共団体等のニーズを反映しつつ、最新規制適合車等への代替促進等局地的な大気汚染地域の改善につながる事業を引き続き実施します。なお、国等の低公害車普及に対する補助制度が大幅に充実されてきたこと等を踏まえ、低公害車普及（助成）事業については、17年度以降新規事業を凍結します。
- ③知識普及、研修、情報提供事業については、
 - ・地域住民のぜん息等の発症予防、健康回復及び地域の大気環境の改善に係る知識の普及を行うため、パンフレットの作成、ぜん息専門医等による講演会の開催やぜん息電話相談などの事業を積極的に実施します。
 - ・ホームページや予防事業だより等を活用し、各事業の実施を通じて得られた最新の知見や情報を幅広く積極的に提供します。
 - ・地方公共団体が実施する健康相談事業、健康診査事業、機能訓練事業及び大気環境の改善事業の従事者を対象に、各事業への理解を深めるとともに事業実施に必要な知識及び技術等を理論的・実践的に習得することを目的に、機能訓練研修、保健指導研修（小児・成人）及び環境改善研修を実施します。
- ④環境保健分野に係る調査研究については、地域住民のぜん息等の発症予防、健康回復を図るための事業の根拠となる知見の確立及び事業実施基盤の強化、事業効果の適切な把握に係る課題に重点化し、また、大気環境の改善分野に係る調査研究については、局地的な大気汚染地域の改善に係る課題に重点化を図ります。

調査研究事業発表会

当機構は、大気汚染の影響による健康被害を予防するために必要な各種の事業を行っており、その一環として調査研究事業を行なっています。大きく分けて環境保健分野、環境改善分野とに分けられ、毎年5月から6月にかけて前年度に実施した調査研究の発表を行っています。ここでは各分野別の発表の様様をご紹介します。

第16回研究懇話会（環境保健分野）

5月29日（日）オリベホール（ラピロス六本木8階）にて、平成16年度に実施した「第6期大気汚染による健康影響に関する総合的研究（2年目）」の内容、次年度以降の方向性などについて、研究者より発表していただきました。当日は研究者、自治体の方など関係者58名に参加していただきました。

また、研究の発表の場を利用して、評価委員による評価が行われました。研究成果や評価結果の内容については、今後ホームページ「ぜん息などの情報館」にて掲載を予定しています。



会場の様子

【第6期大気汚染による健康影響に関する総合的研究（2年目）】

I 健康診査事業等に係る気管支ぜん息等の発症リスクの同定に関する研究

- ・乳幼児のぜん息ハイリスク群を対象とした診査、介入による事業展開の重点化に関する研究
- ・気管支ぜん息等の発症・増悪リスクとしての環境要因の寄与の程度に関する研究

II 健康相談事業に係る地域連携等による保健指導に関する研究

- ・思春期気管支ぜん息患者を対象とした地域連携による保健指導のあり方に関する研究
- ・成人気管支ぜん息患者の状況に応じた自己管理手法に関する研究
- ・高齢のCOPD患者の早期診断、早期治療による発症予防のための地域連携の進め方に関する研究

III ソフト3事業等保健指導事業の効果の評価に関する研究

- ・気管支ぜん息患者の年齢階層毎の長期経過・予後に関する研究

環境改善調査研究成果発表会（環境改善分野）

6月21日（火）東京厚生年金会館（東京都新宿区）にて、平成16年度に実施した「局地的大気汚染対策に関する調査研究」について、その成果の発表を行いました。

研究者の他に、一般の方や自治体の方など66名の方に参加していただき、活発な意見交換がなされました。

また、研究の発表の場を利用して、評価委員による評価が行われました。研究成果や評価結果の内容については、今後ホームページ「大気環境の情報館」にて掲載を予定しています。



会場の様子

I ディーゼル排気粒子等削減のための局地汚染対策技術に関する調査

概要

ディーゼル排気粒子を除去するため、道路沿道や道路壁に省スペースで設置可能な電気集塵装置の検討を行い、集塵効率およびNO_x除去率の高い、低電力の自然通風型電気集塵装置の開発を目指す。

II 高活性炭素繊維を用いた沿道排ガス削減技術に関する調査

概要

触媒的な作用があり光照射のない常温で窒素酸化物を浄化することができる高活性炭素繊維を応用し、建物の壁等で窒素酸化物を分解できる新素材の開発を想定した新たな局地汚染対策技術の可能性を検討する。

III 局地汚染地域における各種自動車排出ガス抑制対策の評価手法等に関する調査

概要

局地汚染地域において地方自治体が実施する各種自動車排出ガス抑制対策による環境改善効果等を評価するための技術的手法の確立を図る。

平成16事業年度環境改善調査研究の成果

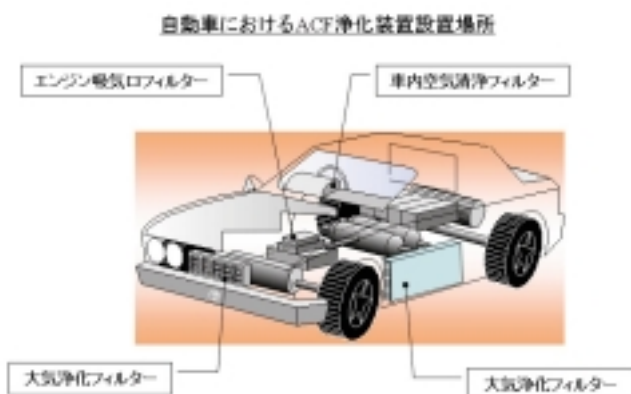
ここでは、左記の環境改善調査研究成果発表会で発表されたプログラムの一部を報告いたします。

II 高活性炭素繊維（ACF）を用いた沿道排ガス削減技術に関する調査

【ACFの特徴】

この高活性炭素繊維（ACF）は、戸外の汚れた空気に含まれる一酸化窒素と二酸化窒素を同時に浄化できます。また、二酸化硫黄、アンモニア、悪臭物質、微量の有害な化学物質類、オゾンも同時に取り除くことができます。

広域的な大気浄化のためには、①コンパクトで、広い範囲に設置が可能であること、②設備費、土木工事費が安いこと、③電気エネルギー不要、ランニングコストが低いこと、④浄化寿命が数年～数十年 などの条件が不可欠である。自然通風式の ACF では、この条件を概ねクリアできます。



【今後の展望】

道路上のNOx濃度は非常に高く、車を運転するドライバー、周辺住民への影響が懸念されています。そのため、ACFの幅広い活用が期待されます。例えば自動車のフロント部、ラジエーターファン前部などに取り付けることで、道路上の非常に汚れた自動車排ガスをきれいにしながら走ることとなります（左図、移動走行式）。一方、自動車室内の空気フィルターに使用すれば、汚れた外気を遮断できます。この技術は取り扱いが簡易なため、国内の交通量が多い都心部などでの大気浄化に大きな威力を発揮することが期待できます。

平成17事業年度環境改善調査研究の公募

「平成17年度新規調査研究課題」の委託先を選定するにあたり平成17年4月4日から5月13日までの期間をもって公募を行ったところ、8件の応募がありました。

応募のあった調査研究計画書について、厳正な審査を行った結果、下記の応募者を採択先として決定いたしましたので、お知らせします。

〈採択先〉

1 大気汚染の改善に資する交通流対策に関する調査研究
株式会社 日通総合研究所 東京都港区東新橋1-9-3

2 局地汚染対策における窒素酸化物及び浮遊粒子状物質の複合的削減のための対策技術に関する調査研究
松下エコシステムズ 株式会社 愛知県春日井市鷹来町字下仲田4017

3 窒素酸化物及び粒子状物質に係る自動車運転診断装置に関する調査研究
株式会社 堀場製作所 京都府京都市南区吉祥院宮の東町2

イベント等の開催予定

■低公害車フェア

低公害車の展示、試乗等低公害車に関する様々なイベントを行います。

	開催予定日	開催地	会場
低公害車フェア in KOBE 2005	10月9日(日)～10日(月)	神戸市	しあわせの村
北九州エコカーフェア 2005	10月9日(日)～10日(月)	北九州市	リバーウォーク北九州
低公害車フェア in おおさか	10月26日(水)～29日(土)	大阪市	インテックス大阪

■ぜん息児水泳記録会

地方公共団体や民間の水泳教室等に参加しているぜん息児を対象に、健康回復を図る上で大切な自己管理を啓発することを目的として、泳力検定を含めたタイムレースに重点をおいた大会を行います。

	開催予定日	会場
水泳記録会（関西地区）	9月23日(金)	大阪プール(大阪市港区)
水泳記録会（関東地区）	10月15日(土)	東京辰巳国際水泳場(東京都江東区)

■ぜん息の予防等に関する講演会

ぜん息等に関する知識の普及を図ることを目的として、専門家による講演会を一般の方々を対象に開催します。

主催者等	開催予定日	会場	講師
機構・東京都	11月8日(火)	星陵会館	勝沼 俊雄 先生(東京慈恵会医科大学 小児科講師)
機構・川崎市	11月26日(土)	川崎市産業振興会館	海老澤 元宏 先生(独立行政法人国立病院機構相模原病院 臨床研究センター病態総合研究部長)
機構・横浜市	12月13日(火)	都筑公会堂	栗原 和幸 先生(神奈川県立こども医療センターアレルギー科 科長)
機構・世田谷区	12月17日(土)	砧区民会館	赤澤 晃 先生(国立成育医療センター小児期診療科医長)

※テーマや他の日程の詳細が決まり次第、ホームページ「ぜん息などの情報館」(<http://www.erca.go.jp/asthma2/index.html>)内でお知らせいたします。

■ぜん息の予防等に関する講習会（公立学校等の養護教諭対象）

ぜん息児の快適な学校生活等を支援するため、小中学校および地域においてぜん息児等の保健指導に携わる方を対象に、講習会を実施します。

対象	開催予定日	会場	テーマ・講師
倉敷市内養護教諭	8月22日(月)	くらしき健康福祉プラザ	「ぜん息及びアレルギーによるアナフィラキシーショックについて」 春摘 誠 先生(独立行政法人国立病院機構南岡山医療センター 小児科)
千葉県保田地区養護学校	8月24日(水)	千葉県富山町中央公民館	「ぜん息児の日常生活・治療・保健指導のあり方(応用編)」 渡辺 博子 先生(独立行政法人国立病院機構下志津病院 小児科医長)

※テーマや他の日程の詳細が決まり次第、ホームページ「ぜん息などの情報館」(<http://www.erca.go.jp/asthma2/index.html>)内でお知らせいたします。

■ぜん息フォーラム（就学期ぜん息予防等推進事業）

就学を控えたぜん息児の家族、学校で養護や保健指導に携わる教員及び地域住民の皆様にお集まりいただき、ぜん息の治療、管理に関する最新情報を知り、家庭や学校における対応について考えます。

主催者	開催予定日	会場	講師
機構・名古屋市	9月6日(火)	鯉城ホール(名古屋市)	宇理須 厚雄 先生(藤田保健衛生大学医学部 教授) 大矢 幸弘先生(国立成育医療センター アレルギー科 医長)

その他の事業

ぜん息電話相談室

「ぜん息電話相談室」では、薬剤や症状、自己管理・日常生活に関する注意点等のぜん息に関する質問について、相談員がアドバイスを行っています。



フリーダイヤル：**0120-598014**（呼吸はいーよ）
 相談期間と時間：月曜日～金曜日（祝日・土日を除く）の9時～17時
 相談員：看護師、保健師、専門医

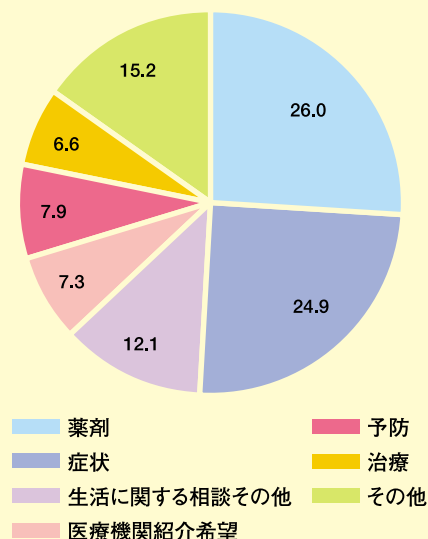
2004年度相談実績概要

平成16年4月1日～平成17年3月31日（実日数216日間）の期間中に相談室に寄せられた相談内容をまとめたものを報告いたします。

総件数は1,054件で一月あたり80件前後の相談が寄せられました。相談者は「女性（86%）」「30代（41%）」が中心で、内容については「薬剤（26%）」、「症状（25%）」に関する内容が目立ち、それ以外にも「生活全般に関する相談」から「疾患」、「医療関係について」など、様々な内容の相談が寄せられました。相談への回答内容に対する評価（納得度）では約85%の方から「非常によかった」または「良かった」という評価をいただき、概ね満足して頂きました。

これらの結果を踏まえ、今後も事業の充実を図ってまいります。

相談内容 (%)



機能訓練研修



会場風景 —呼吸介助法の実技指導—

6月29日（水）～7月1日（金）、国立オリンピック記念青少年センターにおいて、当機構が主催する機能訓練研修が行われました。当研修は、公害健康被害予防事業の従事者が当事業への理解を深め、各種機能訓練事業の実施に必要な知識及び技術を習得し、事業に活かすことを目的に毎年実施しているものです。

水泳訓練教室、ぜん息キャンプ事業等に携わる、保健師、指導員及び事務担当者など55名の方に参加していただき、専門医によるぜん息の基本から最新情報の提供、呼吸介助法の実技指導、更に実際に水泳訓練教室、音楽教室、ぜん息キャンプ事業に携わる医師や音楽家等の方々から実践に役立つお話を伺いました。

また、今年度は昨年の研修生から好評を得た「事例発表とグループディスカッション」を行い、18自治体の事例に基づき事業の現状について相互の理解を深めるとともに、活発な情報交換が行われ、医師からのアドバイスもいただきました。





くるま・環境・技術・2005 開催



平成 17 年 8 月 1 日（月）～ 5 日（金）の 5 日間、愛知県名古屋市にて環境と交通の調和をめざして、「環境と交通に関する世界会議 in 愛知」が愛・地球博関連のプロジェクトとして開催されます。

（独）環境再生保全機構では、上記の「環境と交通に関する世界会議 in 愛知」を構成する 3 つのプログラムのうち、「くるま・環境・技術 2005」を開催します。

増加する自動車の排出ガスによる大気汚染問題、二酸化炭素の排出による地球温暖化などの環境問題を解決するためには、エコカーの普及や環境問題について考えることは急務となってきました。次世代の子供達を対象に参加・体験型の環境学習を行い、最新のエコカーである燃料電池車や環境問題などを中心に理解を深めるためのイベントです。



リーフレット

日時：平成 17 年 8 月 2 日（火） 13：00～ 16：30（1 回開催、休憩 15 分含む）
8 月 3 日（水） 10：00～ 16：00（2 回開催、各回休憩 15 分含む）
会場：名古屋大学（シンポジオンホール／豊田講堂前広場）
愛知県名古屋市千種区
定員：各回 50 名程度
対象：小学校高学年以上

～プログラム～

★くるま・環境教室

1 時間目（約 45 分）：（場所：シンポジオンホール）

●「低公害車って何だろう？」

環境に優しいクリーンエネルギー自動車、なかでも「究極の低公害車」といわれている燃料電池自動車について学ぶ。

●「燃料電池車を作ってみよう！」

燃料電池自動車キットを組み立てて、実際に仕組みを体験する。

2 時間目（約 30 分）：（場所：シンポジオンホール）

●「人の力 vs くるまの力：エネルギーを体験」

燃料電池自動車に必要なエネルギーを、自転車の力で体験する。

●「Q & A」

くるま・環境に係る質問コーナー

3 時間目（約 30 分）：（場所：豊田講堂前）

●「乗ってみよう！」

地球環境に優しい、クリーンな車、燃料電池自動車に試乗する。

★一般来場者向け燃料電池自動車への試乗会

新刊パンフレットのご案内

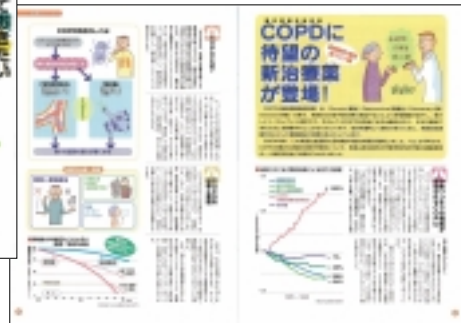


お問い合わせは12p【お問合せ先】まで

すこやかライフNo.25 ～ぜん息&慢性閉塞性肺疾患のための生活情報誌

ぜん息、慢性閉塞性肺疾患の患者の方々に対し、ぜん息等の予防・回復に資するための情報提供を目的とした生活情報誌です。年2回発行しています。

特集では、ぜん息の基本病態と考えられている「気道炎症」を、また医療トピックスでは長時間作用型抗コリン薬をとりあげるなど、ホットな情報を掲載しております。



目次

- ◆ 特集 知っておきたい 気道の「炎症」のこと
- ◆ 医療トピックス COPDに待望の新治療薬が登場！ 「長時間作用型抗コリン薬」
- ◆ 読者参加型コーナー ぜん息医療を上手に受けるには
- ◆ 現場レポート 病院・院外薬局の連携による服薬指導の取組み
- ◆ ぜん息児へのエール コピーライター・糸井重里さん
- ◆ 情報コーナー ぜん息患者のための公的支援制度を知っていますか？
- ◆ 読者のページ 読者 Q & A
- ～別添～ 気管支ぜん息・慢性閉塞性肺疾患の基礎用語
- 地方公共団体が行う公害健康被害予防事業

地球を守れ!! アスミちゃん～地球温暖化とその影響～

地球温暖化を防止するため、「アスミちゃん」が地球温暖化のメカニズムや温暖化によって予測される影響、家庭でできる温暖化防止対策などを簡単に分かりやすく紹介します。



地球温暖化防止キャラクター「アスミちゃん」



患者教育実践テキスト

このテキストはぜん息の治療・管理に関わる保健師、看護師の方の利用を前提として、患者教育の視点から必要な情報を、医療、看護、保健の専門的見地からの監修を得て、小児編と成人編とに分冊して整理したものです。

患者教育の現場での利用を想定した患者教育ツールも盛り込んでいます。



小児編
監修代表 西間 三馨
A4判 本文96頁
平成17年3月31日発行



成人編
監修代表 宮本 昭正
A4判 本文96頁
平成17年3月31日発行

ホームページ「大気汚染キーワード解説」リニューアル



機構サイト「大気環境の情報館」コンテンツの一メニューである「大気汚染キーワード解説」の内容を、分かりやすく、使いやすく発信するため、情報の精査、再編を行いました。

また、文字情報だけでなく、関連する図やグラフ、画像を追加して掲載いたしました。大気汚染に係るキーワードの検索にご活用ください。

URLはこちら

http://www.erca.go.jp/taiki/taisaku/ke_kaisetu.html

健康被害予防事業だより 第34号 2005年7月号
発行 独立行政法人環境再生保全機構 予防事業部管理課
〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町1310
ミューザ川崎セントラルタワー 8F
TEL: 044-520-9564 (ダイヤルイン)
FAX: 044-520-2134

【パンフレット等のお問い合わせ先】

当機構の公害健康被害予防事業に関する出版物等の入手またはビデオの貸し出しを希望される方は予防事業部事業課(044-520-9567~9568)(ダイヤルイン)(土日祝日を除く平日9:00~18:00)までお問い合わせください。費用は無料です。
なお、当機構ホームページ(URL:<http://www.erca.go.jp>)からでも申し込みます。

次号(No.35)は、2006年1月に発行予定です。